

すっかり秋も深まり、朝晩は寒いくらいですね。

2週間の読書週間は終わりましたが、まだまだ読書の秋はこれから。

たくさんのお本とのふれあいを楽しんでくれたら、と思います。

七五三って



11月15日は七五三の日です。

七五三は、子供の成長を神さまに感謝し、将来の無事を祈って、神社にお参りする行事です。

昔は、「七歳までは神のうち」といわれ、小さいちはまだ神さまの世界にいて、七歳で初めて人間の仲間入りをすると言われていました。七歳って、とても大事な年と考えられていたのです。

七五三といえば千歳あめ、という人も多いでしょう。紅白の細長いあめには、「長生きできるように」という願いが込められています。



『和』の行事えほん 秋と冬の巻』38/夕

『七五三だよ一・二・三』



長野ヒデ子：作・絵
佼成出版社 E/ナ

ことしはおねえちゃんが七さい。

ゆうちゃんが五さい。

ゆりちゃんが三さい。

みんなそろってうれしい七五三。

げんきに大きくなりました。

ありがとうございますって

かみさまにおまいりするのよ。

芸術の秋に映画に関する本を読んでみよう！



『南総里見八犬伝
①～④』
浜たかや：編著
佼成社 913/夕

『活劇巨編『里見八
犬伝』大評判』
小西聖一：著
理論社 21/コ



滝沢馬琴が原作の『南総里見八犬伝』が、作家山田風太郎が再構成した『八犬伝』をもとに映画化されました。八犬伝と、作者である馬琴と友人の葛飾北斎の交流を交互に描いた作品になっているようです。

江戸時代に書かれた、ミステリーのようなサスペンスのような不思議なお話を、ぜひ読んでみてください。歴史ものはちょっと苦手、という人もそんなことが気にならないほど引き込まれてしまうお話です。

また、『南総里見八犬伝』は、小説・マンガ・映画・ゲームなど様々なメディアにモチーフとして数多く取り上げられています。自分が手に取りやすいメディアからふれてみるのもいいかもしれません。

担任の先生から読み聞かせ

10月22日(月)の朝の読書の時間に、
 全学年で「『教室はまちがうところだ』 時田晋治
 子どもの未来社」の読み聞かせがありました。
 読んでくれたのは、なんと担任の先生。子供
 たちは、司書の読み聞かせの時より集中して
 聞いている子が多く、「担任の先生方は、やはり
 子供たちにとって特別なんだなあ」とあらためて
 思いました。



校内読書週間アレコレ



先生方の好きな本紹介

給食の時間に、図書委員さんが放送で先生方の好きな本を紹介しました。



貸出特典でしおりを作ろう!

本を借りた人に1日1枚シールをプレゼント。好きなシールで自分オリジナルのしおりを作りました。



物語の中からクッキング

お話の中に出てくる食べ物が給食に。今回のメニューは、昨年度に引き続き、5回分すべてが田原中と田原小と同じものが出ました。パンドロぼうトーストがやはり人気だったようです。



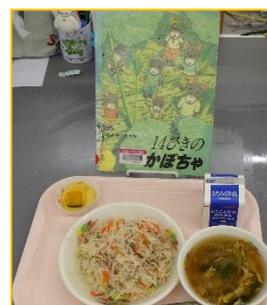
せんべい汁
 太宰治(青森の郷土料理)



ハートの人参入りキノコミートスパゲティ
 『ふしぎの国のアリス』



パンドロぼうトースト
 『パンドロぼう』



かぼちゃ蒸しパン
 『14ひきのかぼちゃ』



カレー・ブロッコリーのサラダ・ももゼリー
 『給食室のいちにち』